【中学部】

総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1　主題　　地域と学校のつながりについて考えよう
2　主題設定の理由（省略）
3　ねらい
・地域とのつながりを考慮しながら，自分の意見を積極的に発表することができる。
・自分たちの学校の様子や障がいの特性などについて，地域の方々にわかりやすく説明することができる。
4　指導計画
（１）これまでの学習
・地域の様子を知ろう（八万地域クリーン大作戦）・・・・・・・・・・・・・・・・３時間
・地域の方々と仲よくなろう（地域の公共施設に文化祭のポスターを配ろう）・・２時間
・地域の方々を学校に招こう（防災学習，文化祭に招待しよう）・・・・・・・・・２時間
（２）現在の学習
・私たちのことをもっと地域の方々に知ってもらおう（理解・啓発のためにどんなことができるだろう）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２時間（本時１／２時間）
（３）これからの学習
・これまでの活動を振り返り，活動のまとめをしよう・・・・・・・・・・・・・・・１時間
5　本時の学習
（１）目標
・学校のことを効果的に伝えるための方法について，積極的に意見を述べることができる。
・『話し合いの達人スキル』を意識して話し合いを進め，友達の気持ちや和やかな雰囲気を尊重しながら合意形成を図ることができる。
（２）普遍的な学習のテーマ・・・共生，相違の理解と受容
個別人権課題名・・・・・・障がい者
（３）展開

展開	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 （５分）	１　本時の議題や提案理由を知り，話し合いの方向性について，留意点や活動の条件を確認する。	１－１　提案理由を正しく理解できるようにする。 １－２　『話し合いの達人スキル』を提示し，留意するポイントを伝える。	１　言葉遣いや態度に留意し，姿勢を正して会議に参加できる。（価値的・態度的側面）
展開 (35 分)	八万地域の方々に，徳島聴覚支援学校のことをもっとよく知ってもらうための方法を考えよう		
	２　学校新聞に掲載する内容を話し合う。	２－１　テーマの逸脱などがあるときは，必要に応じて助言を与える。 ２－２　『話し合いの達人スキル』チェックリストで発言や行動を評価し，適切でないときにはＳＳＴを取り入れた指導を行う。	２－１　友達の意見を尊重したり自分の考えを適切に主張したりしながら，合意形成を図ることができる。（価値的・態度的側面）
まとめ (10 分)	３　「振り返りシート」に活動の反省を記入し，教員から評価を聞く。	３－１　できたこと，できなかったことを具体的に評価できるよう助言する。 ３－２　よかったところ，前回に比べてできるようになったことを中心にコメントし，称賛する。	３－１　できたこと，できなかったことを具体的に振り返りながらシートに記入することができる。（価値的・態度的側面）

※学習活動全体における配慮事項（合理的配慮）
＊発表の際には，小ホワイトボードを活用し，発表者の考えが正確に伝わるようにする。